InSEA

公益社団法人
日本美術教育連合ニュース

No. １６３

２０２１．９

〒113-0033　東京都文京区本郷 2-30-14　文京ビル 206 号
公益社団法人　日本美術教育連合
発行人　理事長　大　坪　圭　輔
ニュース担当　佐　藤　仁　美・北　川　智　久
E-mail:info@insea-in-japan.or.jp

コロナ禍とコミュニケーション

公益社団法人　日本美術教育連合理事　結　城　孝　雄

２年目を迎えたコロナ禍は、未だその収束の兆しも見えない状態です。この間、オンラインを通した授業、会議が必要に迫られて、一挙に社会に浸透しました。時空間を飛び越えるオンラインでの利便性は、多くの人が興味関心のもとに容易く参集できることに尽きるでしょう。これらの諸活動は、必要とする内容を最小限のスペックで実現できることから、効率で考えると生産性の高い行為だと言えます。ところが、このような活動は目的や用事を済ませることはできる、でも満足感、充足感が伴っていると感じている人は、少ないのではないでしょうか…。代行はできる、費用や時間を軽減できる、でも、…。

その反動なのか、緊急事態のコロナ禍でも対面でのコニュニケーションを求めて、都会では人流が抑制できない状態が続いています。対面がもたらす複数の感覚を伴う活動で、人は初めて、何かを知覚する。古来、人類が、生物が積み重ねてきた総体としての経験とは、奇異なる直近の経験に拒否反応を示しているかのようです。

デジタルコミュニケーションが人を広く多領域に誘うとすれば、アナログコミュニケーションは、深く関わることをもたらす様に思えます。

最近公開された映画『かば』は、1980年代の大阪西成区の中学校を舞台とする人物グラフティー。差別と貧困、地域社会、家庭の矛盾を背負う生徒と教員と保護者。悲しいけれど暗くはない。厳しいけれど、どこかに希望がある。真剣だけど、抜けている。そこに流れる泥臭いほどのアナログコミュニケーションは、「うざい」という言葉が使われる前の「鬱陶しい」くらい、濃密な繋がりを描き出しています。この作品には時代遅れと思われそうな人と人の繋がりを再認識させて、多くの支持が拡がっています。その理由は、アナログコミュニケーションが人と深く関わり、人を大事にするという関係性（relationship）で成り立っていることに気付かされるからです。五感とともに人の認識は、物事の理解を深めていきます。私たちは、２つのコミュニケーションを使い分ける時代に立っています。

■第55回　日本美術教育研究発表会2021　案内■

□日　　時：令和３（2021）年10月17日（日）９：00－15：00
□場　　所：Zoomオンライン　各設定Room内
□参加費等：参加費500円（概要集代として）会員以外の方でも参加できます。
事前申込が必要です。連合HPからご案内します。参加者には『日本美術教育研究発表会　概要集2021』をオンラインで配付します。
□主　　催：公益社団法人　日本美術教育連合（InSEA-JAPAN）
□後　　援：文化庁（申請中）

研究局より

■第55回日本美術教育研究発表会2021　実施案内■

研究局担当理事　結　城　孝　雄

□**開催日時**：　令和３（2021）年10月17日（日）９：00－15：00（予備室の使用無き場合14：25終了予定）
□**会　　場**：　Zoomオンライン　各設定Room内
□**参加費等**：　参加費500円（概要集代として）事前申込みは必要、会員以外の方でも参加できます。
『日本美術教育研究発表会　概要集2021』をオンラインで配付します。
□**主　　催**：　公益社団法人　日本美術教育連合（InSEA-JAPAN）
□**後　　援**：　文化庁（申請中）

発表者の皆様へ

事前のテストRoom開設
□**事前の試験実施**：令和３（2021）年10月10日（日）10：00－11：00
　各Room設定者（研究局　Ａ－林・Ｂ－小林・Ｃ－山田・Ｄ－結城・Ｅ－藤井）が設定したRoomにて発表者ごとに各10分以内
◆音声テスト・プレゼンテーションテスト・通信量確認・カメラテストの実施
◆配付資料があれば、配付テスト
◆もし、日程が合わない場合は、発表者の別途対応いたします。
◆発表者には、設定者からメールにて、Accessコードを連絡差し上げます。
◆研究発表会当日、発表中にアクシデントが起き中断しましたら、予備室を用意しておりますので、再発表が可能です。主催者側と協議の上、スケジュールを決定します。
◆研究発表会当日、投稿論文（12:20－12:50）についての説明会があります。必ず、ご参加ください。

参加者・発表者の皆様へ

◆研究発表会　参加予約
　９月４日から　peatix http://ptix.at/GldWRp　予約開始　先着順200名　オンライン決済　参加費　500円　領収書の有
　予約の際に　参加者・発表者皆様には、下記の信義則実行の内容を確認していただき、ご了承の上、ご参加ください。

セキュリティーの確保
■アクセス情報を他者に知らせない・発表者の発表データを無断流出しない・参加者の肖像を無断流出させない。

参加者の信義則実行の原則
■Accessコードを他者に知らせない。
■研究発表の発表資料を無断で画面から記録しない（発表者が許可する場合はこの限りではない）。
■参加者の肖像を記録しない。
■発表進行への協力。

発表者の著作権・肖像権の順守
■発発表者は、著作権を順守し、肖像権を尊重した発表を実施すること。
■そのために使用する画像、データ等、著作権・肖像権に抵触しないことを必ず事前に確認すること。
参加に際しては、これを承認されたものといたします。

■参加者の皆様には、当日までにメールにて、各部屋のAccessコードをお知らせします。
■開会式はＤ会場にて９：00より開会しますので、ご参加ください。
■発表に際して、各会場に入室されましたら、チャットにお名前・所属、一言をお書きください。
■発表中のチャットによるご質問は、随時ご記入ください。
■各会場では、マイク・ビデオカメラをOFF（ミュート）の設定をしております。

■第 55 回美術教育研究発表会 2021　発表スケジュール案　令和3(2021)年 10 月 17 日(日)■

会場:ZOOM 会議上　主催　公益社団法人　日本美術教育連合　後援　文化庁(申請中)

9:00 9:15 移動 9:30	開会式:　D 会場				
	A 会場　(理論等)林	B 会場(実践小)三澤	C 会場(実践中高大)山田	D 会場(特支/幼)結城	E 会場(海外/ICT)藤井
9 : 30 9 : 55	**A－1** 芸術統合型学習の 今日的役割 -学校教育改革と芸術を めぐる社会的変化- 名古屋学院大学 松本　浩司	**B－1** 性の多様性について考え る美術科の授業題材開発 のための研究 -表現手段として「ファッ ション」を取り入れることの 可能性- 足利短期大学 茂木　克浩	**C－1** 造形活動に対するファシリ テーションの考察 -ファシリテーションに おける場の考察- 東京家政大学 宮田みな美	**D－1** 造形表現ワークショップに おける関係性をめぐる 一考察 -参加者の親の活動と 省察を対象として- 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 前沢　知子	**E－1**
10 : 10 10 : 35	**A－2** 美術のワークショップ 実践者に対する 学習支援の研究 -A/r/tography を取り入れ た学習支援プログラムを 通して- 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 廖　曦彤	**B－2** 図画工作科における自然 物の教材化についての 一考察 流石　良子	**C－2** 美術教育において「造形 的な見方・考え方」を創出 するイメージングリソース の可能性を探る -暮らしや生を連ねる遠隔 授業(e-Learning)の構想 とオンデマンド用教材の開 発を通して- 熊本大学 赤木　恭子	**D－2** 4・5歳児学級の幼児が描 く消化吸収排泄する自分 -思考力を育成する造形 教育の試論的検討- 岡山大学大学院教育学研 究科教育科学専攻 横田　咲樹 岡山大学大学院 教育学研究科 髙橋　敏之	**E－2** STEAM 教育の実践へ向 けた授業デザインの試案 -美術科教育の視座から- 東京学芸大学　教育学部 個人研究員 畑山　未央
10 : 35 10 : 55	休憩　(20 分)				
10 : 55 11 : 20	**A－3** 「造形遊び」導入以降の 美術教育論における 他者をめぐる 問題圏からの再出発 -「造形遊び」と「資質・ 能力」の位置づけに 着目して- 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 清家　颯	**B－3** 美術科学習指導要領に おける「遊び」の扱いに 関する考察 -図画工作科と美術科の 比較から- 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 佐藤　仁美	**C－3** 中学校美術科教育と 石膏像 -高崎市の中学校におけ るアンケート調査から- 群馬県立女子大学 文学研究科芸術学専攻 大澤　伸枝	**D－3** 聴者と聴覚障害児の コミュニケーションの研究 -プロダクト musicolor の開 発と中国と日本の聴覚特 別支援学校における 実践- 武蔵野美術大学大学院 造形研究科デザイン専攻 工芸工業デザインコース 靳　梦	**E－3** 孤立した世界を アートでつなぐ -教育的転回としての アイムヒア プロジェクト- 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 細野　泰久
11 : 35 12 : 00	**A－4** 戦後の美術科教科書にお ける掲載作品の研究(22) -1956～2021 年度美術科 教科書掲載の「浮世絵」と 国際交流に関する考察- 元 宇都宮大学 山口　喜雄	**B－4** 図画工作科における 創造活動を通した 「造形的な視点」の研究 -「造形的な視点」育成の ための授業構造- 東京学芸大学 西村　徳行	**C－4** 中学校美術科における 「教科等横断的な取組」 実践報告とその成果 聖ステパノ学園 小学校/中学校 金阿彌　勉	**D－4** ESD と木育のつながり -子どもたちとの実践を 振り返って- 東洋英和女学院大学 三上　慧	**E－4** 造形に統合された経験に おける境界の内外と 隔たりの意味について -日本とチェコ共和国の 二つのモニュメントを 手がかりに- 金沢学院大学 家﨑　萌
12:00 13:30	論文投稿者説明会 12:20－12:50	昼食(12:00－13:30)			
13:30 13:55	**A－5** 身近な事物のテクスチュア やコンポジションへの 注意を促す試み -アートゲームにおける カテゴリー化に着目して- 東洋大学 北澤　俊之	**B－5** 全天球カメラを活用した造 形教育の工夫と改善 -協働的な学びの中で 働いた造形的な見方・ 考え方の分析を通して- 登米市立柳津小学校 宮﨑　敏明	**C－5　モジュール発表** 中学校美術における共通 領域「造形実験」の提案 武蔵野美術大学 三澤　一実 埼玉大学教育学部 附属中学校 小西　悟士 東京都小笠原村立 母島小・中学校 大黒　洋平	**D－5** 知的障害特別支援学校高 等部における表現意欲を 高める指導について 埼玉県立 春日部特別支援学校 小野　恵	**E－5** 発想・構想のプラット フォームから自己編集・ 相互編集へ 東京学芸大学名誉教授 山田　一美
14:10 14:35					
14:45	閉会式:D 会場				
15:00	閉会				

■第55号　日本美術教育研究論集　2022■
【投稿および掲載要項】

研究論集編集委員会

研究論集編集委員長　立　川　泰　史

投　稿　要　項

□投稿ならびに掲載の条件：　第55回日本美術教育研究発表会の研究発表者は、『日本美術教育研究論集55』に投稿できます。
投稿論文の研究論集への掲載は、次の⑴～⑺の条件を全て満たしたものに限ります。
⑴投稿原稿の題目ならびに内容が、研究発表会における発表内容と同じであること。
⑵投稿原稿の内容が、未発表かつオリジナルなものであること。
⑶投稿原稿の内容が、投稿された各群の内容として適合していること。
Ⅰ群(理論・実践研究論文)…理論的・実践的な実証に基づいた独創的な知見を含む論文。
Ⅱ群(実践研究報告等)…さまざまな教育現場におけるすぐれた実践を報告するもの。
Ⅲ群(研究ノート)…将来の研究につながる問題の提起ならびに先行研究や事例の紹介。
⑷投稿原稿において、規定の書式、分量等が守られていること。
⑸掲載料を期日（2021年11月７日）までに納入していること。
⑹作品の図版や写真・VIDEO映像等の著作物を利用する場合および写真等の肖像権は、必ず投稿者が事前に著作権者・出版社・所有権者・本人もしくは保護者等の許諾を得ること。
引用文献は、脚注や本文中に著者・著書名・発行所・出版年・頁の順で出典を明記すること。
⑺研究論集編集委員会における査読を経て、投稿原稿の掲載が妥当と判断されること。

□論文査読：　Ⅰ群（理論・実践研究論文）・Ⅱ群（実践研究報告等）・Ⅲ群（研究ノート）ともに複数の査読委員が査読を行い、編集委員会での審議を経て投稿原稿掲載の可否を決定します。掲載が決定した論文は、各主査がまとめて論評し、各論評を研究論集の〈論評の部〉に掲載します。

□原稿書式：　Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群ともに、本文および図版（写真・表・図等）及び、Ⅰ群のみ必須の「英文サマリー」を含め、下記の書式と文字数を守って下さい。
１頁分の基本書式は、**Ａ４横組２段組　23字×44行×２段組＝2024字**です。
題目（副題）、所属、氏名は、第１頁の１行目から２段組を１段組に統合して記載し、題目の英語表記・所属・氏名のローマ字表記も含めます。本文は10行目から２段組で書き始めます。
共通の項立て・見出しを用い、以下の番号と見出し語のみとします。
大項目１．２．３．［全角数字］…、中項目（１）（２）（３）…、小項目①②③…。

□掲 載 料：　Ⅰ群･Ⅱ群･Ⅲ群ともに掲載料は､一般（給与を得ている内地留学生等を含む）15,000円､院生･学生8,000円です。
８頁（Ⅲ群のみ６頁も可）を原則とし２頁増ごとに6,000円を加算し（奇数頁の場合も余白頁を含めて２頁増として計算）、10頁では一般21,000円、院生・学生14,000円です。
頁の上限は12頁で、一般27,000円、院生・学生20,000円です。
カラーページは１頁につき12,500円を加算します。
抜き刷り（一律50部）は、８頁モノクロで7,000円です。２頁増ごとに2,000円を加算します。
（抜き刷りのカラーページは、1頁ごとに2,000円を加算します。）
掲載料は下記口座に納入し､送金証明書（利用明細書のコピー等）を投稿論文に同封して下さい。
口座記号番号：００１７０－１－８６０３６（右寄せで記入）郵便振込です。
加入者名　　：公益社団法人日本美術教育連合
ご依頼人　　：〒郵便番号・住所・氏名・電話番号・所属機関
通信欄　　：例）掲載料15,000円（一般、８頁）＋増頁分6,000円（２頁増の場合）＝21,000円（計10頁）
「抜き刷り」を希望の場合は、その旨明記し、必要な金額を加算してください。
※査読の結果、掲載に至らない場合は、納入した掲載料の内5,000円（院生・学生3,000円）を引いた金額を返金します。

〈投稿原稿〉11／7（日）消印有効　レターパック・プラス（赤）限定

□投稿〆切：　令和３(2021)年11月７日(日)消印有効。Ⅰ群･Ⅱ群･Ⅲ群とも次の①～③をご提出ください。
①原稿（正１部と副３部、合計４部）、②投稿エントリーシート、
③送金証明書（エントリーシートに貼付）
投稿原稿は、完全原稿とし、締め切り期日以降の差し替え・変更は認めません。
ただし、研究論集編集委員会が修正を求めるときは、この限りではありません。
発行日は、令和４（2022）年３月31日を予定しています。

□送 付 先：　〒173-8602　東京都板橋区加賀1-18-1
東京家政大学　家政学部　児童教育学科　結城孝雄　宛

□詳細連絡：　研究発表会当日に詳細を連絡します。口頭発表者は時程と場所を二次案内で確認して下さい。

□問 合 先：　研究論集編集委員会　研究論集編集委員長　立川泰史：042-782-9811（代）
tachikawa@kasei-gakuin.ac.jp（東京家政学院大学）

事業局より

■日本美術教育連合「造形・美術教育力養成講座〈第７期〉■
第１回　ご案内

事業局運営委員　三　澤　一　実

「造形・美術教育力養成講座」では美術及び美術教育を幅広くとらえ、社会における美術教育の理解を広げ、その拡充を図るとともに、子どもと造形表現に関する理解を深めたり、教育としての美術の可能性を考えたりするなど、講義と演習を通して教育実践力等を高める造形・美術教育力養成講座を実施してきました。2021年度は「越境し拡張する美術－テクノロジーとコミュニケーション」をテーマに全３回の連続講座を開催します。

第１回講座　日時：令和３（2021）年
10月９日（土）13：30－15：40
Zoomオンライン　定員：30名

「デジタル社会を生きる子どもたちの『つくる』力
～ CANVASのSTEAMワークショップと体験型展示のはなしより～

2002年に設立されたNPO法人CANVASでは、21世紀を生き抜くデジタルネイティブなすべての子どもたちのために、主体的・創造的・協働的な遊びと学びを体験できる場づくりを、産官学連携で行ってきました。その活動は、ワークショップや指導者研修会の実施、展示のキュレーション、商品開発など多岐にわたります。これまで全国でおよそ50万人のこどもたちがCANVASの活動に参加しています。

講座の前半は、これまでCANVASが取り組んできたSTEAMワークショップや体験型ハンズオン展示の企画づくりで大切にしていることを、事例紹介を通してお伝えします。

後半は、デジタルコンテンツを用いたミニワークショップ「スマホ顕微鏡でコラージュアートづくり」をご体験いただいた上で、STEAM＊教育の「A（アート）ってなんだろう？」についてグループディスカッションをする予定です。

＊STEAMとは、Science（科学）Technology（技術）Engineering（工学）Art（アート）Mathematics（数学）を領域横断的に学ぶ理数系教育のこと。理系分野への喚起のみならず、学習者の関心を高めるような取り組みを表している。

※内容の詳細、参加に当たっての確認事項は、連合ホームページ、または右のQRコードよりご確認ください。ワークショップ参加については必要な機材があります。
※全３回の内２回以上の参加者については「造形・美術教育力養成講座修了認定書」を授与します。

国際局より

■InSEAホームページを旅する■

国際局担当理事　西　村　徳　行

InSEAのホームページ（https://www.insea.org）を、最近ご覧になっただろうか。昨年開催延期となった地区会議が、今年はすべてオンラインで実施される。（HPの「Events」の「InSEA World and Regional Congresses」に情報掲載）「旅に行ったつもり」を味わうために、７月はじめに、ヨーロッパ地区会議にオンラインで参加することにした。久しぶりにInSEAのホームページを訪れると、今までは気付かなかったコンテンツに沢山出会った。ここで少し紹介したい。HPには世界大会や地区会議などの情報がある「Events」の他に、いくつかのタブがある。今回は「Research & Praxis（研究と実践）」を訪れてみた。すると「InSEA webinars」とある。国内の研究会も軒並みオンラインとなり、ウェブセミナーが開催されている。InSEAも時代の要請に答えて実施されたのかと思いきや、第１回開催日は2019年５月、コロナ禍の１年も前に実施されていた。このページには第１回「オーストラリアの芸術教育者との研究と実践に関する会話」をはじめ、2020年４月に実施された第２回「InSEA執行部との研究と実践に関する会話」、第３回「東南アジア太平洋地域および北米世界評議員との研究と実践に関する会話」、そして2021年５月29日に実施された第４回「InSEAアフリカおよび中東地域のウェビナー」をYouTubeで視聴することができる。他にも「Research & Praxis」内の「Virtual Gallery」には、1957年に収蔵され、ニューヨーク近代美術館に展示されている子供たちの絵のコレクションを見ることができる。連合のHPにも、「動画」や「バーチャルギャラリー」が加わると、私のような気ままな旅人が世界から訪れてくれるのではないかと、少し考えた。

役員選挙予告

■第７期新理事選出選挙の実施について■

理事長　大　坪　圭　輔

第６期役員の任期満了に伴う第７期新理事選出選挙を下記の通り実施します。

・選挙は本年12月の実施とする。
・選出する理事候補は会員の互選とし、投票は会員からの投票用紙の郵送によって実施する。
・選挙管理委員会委員長、事務局長、法務担当理事からなる選挙管理委員会を設置する。
・選挙管理委員会委員長は、理事以外の会員から理事会・運営員会での推薦と承認によって決定する。
・第７期は「2022年５月開催予定第12回定時総会終了後から、2024年５月開催予定第14回定時総会まで」とする。

美術教育連携交流より

■公益社団法人日本美術教育連合主催《造形美術教育フォーラム 2021》■

美術教育連携交流担当理事　山　口　喜　雄

Zoom によるオンライン講演

演　題　これからの美術教育を考える

－答申（令和３年１月 26 日）からみた美術教育－

子供たちを取り巻く環境は大きく変化しようとしています。社会の在り方が劇的に変わる Society5.0 時代が到来しつつあり、社会の変化が加速度を増す中、新型コロナウィルス感染拡大などから先行き不透明で、予測困難な状況になってきているのではないでしょうか。

中央教育審議会答申（令和３年１月 26 日）では、この社会の急激な変化の中で再認識された学校の役割や課題を踏まえ、2020 年代を通じて実現を目指す学校教育のビジョンが示されています。この答申と新学習指導要領の内容から「社会に開かれた教育課程」の実現、カリキュラムマネジメントの充実、ICT の活用などを取り上げながら、子供たちの資質・能力を確実に育成するために、我々はどのような美術の授業づくりをしていけばよいのかを考えてみたいと思います。

□ 平田朝一氏のプロフィール

1970年　岡山市生まれ
1994年　岡山大学教育学部特別教科
＜美術・工芸＞教員養成課程卒業
岡山県公立中学校教諭
2003年　岡山大学大学院教育学研究科修了
（岡山県派遣）
2012年　岡山県総合教育センター
教科教育部指導主事
2017年　平成29年 学習指導要領等の改善に係る
検討に必要な専門的作業等協力者
2019年　令和元年 評価規準、評価方法等の工夫
改善に関する調査研究協力者
2020年　岡山県公立中学校指導教諭
2021年　現職

□日　時　令和3(2021)年12月19日(日)
14:30開場／15:00開会－17:00予定

□場　所　Zoom会場〔事前申込定員100名〕

□講　師　平田　朝一（ともかず）氏
文化庁参事官（芸術文化担当）付教科調査官
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

□参　加　10月31日(日)までは「会員」優先で受付ます。
以後先着順で、日本美術教育連合の会員でなくても受付ます。
【重要】申込に際し、著作権保護の観点から「録画・録音・撮影等を行わない誓約」を必須でお願いいたします。

□運　営　美術教育連携交流委員会
山口　喜雄（元宇都宮大学教授）
橋本　光明（すみだ北斎美術館館長）
長田　謙一（首都大学東京客員教授）

□連絡先　nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp　山口喜雄

□主　催　公益社団法人日本美術教育連合

〔顔写真・リード文・図柄は平田氏提供、図柄は講演の内容とは関係ありません〕

事前申込みが必要です！参加費無料

※詳細は、日本美術教育連合の公式ホームページを必ずご確認ください。
→https://insea-in-japan.or.jp/index.html

※お申込は、〈こくちーず〉からお願いいたします。
→https://kokucheese.com/event/index/615984/

事務局より

■事務局便り■

事務局長　北　澤　俊　之

□会員の異動

〈退会者〉石川正一氏・上村みどり氏・北尾由紀子氏・長田千春氏・森芸恵氏
（これまで連合を支えていただき、まことにありがとうございました）

〈入会者〉靳夢氏・流石良子氏・清水輝大氏・藤沢桜子氏・宮田みな美氏の５名の方の入会が、８月29日開催の理事・運営委員会にて承認されました。どうぞよろしくお願いいたします。

□来る10月17日(日)に、第55回日本美術教育研究発表会2021を開催いたします！

来る10月17日（日）に、第55回日本美術教育研究発表会2021（文化庁後援申請中）が、今年もオンラインにて開催されます。昨年に引き続きたいへん厳しい状況の中、エントリーいただきました会員のみなさま、まことにありがとうございました。

本年度は25件の発表が予定されています。日々の実践の中で児童生徒の姿をもとに紡がれた報告や、理論的･科学的考察から組み立てられた研究、世界の美術教育の動向など、多彩な発表が期待されます。会員のみなさまにおかれましては、ぜひ会員外の方もお誘いいただき、本研究発表会を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。なお、参加費として概要集代500円を戴いております。運営上の経費としてご理解下さい。

□令和３(2021)年度会費納入のお願い

本年度会費納入のお願い
令和３（2021）年度会費　6,000円　を　納入してください。

※会計年度は、令和３（2021）年４月１日から令和４（2022）年３月31日までとなります。納入期限が過ぎておりますので、まだお納めでない方はお早めの納入をお願い申し上げます。

【郵便振替】
（公社）日本美術教育連合　**口座番号00170-1-86036**

【ゆうちょ銀行以外の金融機関（ネット銀行を含む）からの送付先】
《銀行名》ゆうちょ銀行《支店番号》019《預金種目》当座《口座番号》0086036

＊過去３年以上会費未納の方につきましては、今回ご入金いただけない場合「除名」という対応をとらざるを得ません。ぜひ納入にご協力ください。なお今回のお願いと行き違いですでに納入済みの方には、失礼をお許しください。

□お問い合わせ先：公益社団法人日本美術教育連合　事務局　北澤　俊之
〒112-8606　東京都文京区白山5-28-20　東洋大学文学部教育学科
TEL&FAX：03-3945-8568（研究室）
E-mail：kitazawa@toyo.jp